

# 『参加大学共催 MDASH 導入・発展ワークショップ』議事録

## (1) 概要

日時	2026年03月09日(月) 10:00~12:00
場所	オンライン (Zoomで実施)
出席者	日本工業大学 穴井様 湘南工科大学 鎌塚様/石川様 東洋英和女学院大学 穴井様 鎌倉女子大学 吉野様 東京工芸大学 小川様 神奈川工科大学 情報教育研究センター 西村, 阿久澤, 前田

## (2) 議事

出席者からの報告	
●	日本工業大学 ➤ 2026年度カリキュラム変更に伴う独自プログラムとMDASHの位置づけについて
●	湘南工科大学 ➤ MDASHに向けた湘南工科大学の取り組み(2025年度)
●	東洋英和女学院大学 ➤ 認定後3年目(正式認定後2年, 独自プログラム後3年)の取り組み状況
●	鎌倉女子大学 ➤ 鎌倉女子大学におけるリテラシーレベルと応用基礎レベル教育の取り組み状況
●	東京工芸大学 ➤ 2025年度の東京工芸大学MDASHの取り組み
●	神奈川工科大学 ➤ MDASHリテラシーレベル再認定申請の紹介
ディスカッションの内容	
●	認定プログラム履修者を増やすには? ➤ オンデマンド化, そのための事前準備としての科目の統一, 時には対面で行き詰まっている学生に対応 ➤ 対象科目の集中講義化, 複数回開講 ➤ 履修ガイダンス等で, 熱意をもってしっかり意義を伝える
●	学生がレポート等をLLMに肩代わりさせてしまう問題にどう対処するか? ➤ 勉強時における生成AIの適切・不適切な使い方を考えさせる教育 ➤ 反転授業(授業中に文章レポートを書かせる) ➤ テスト重視へ ➤ 2段階にする(まず生成AIを使い考察, それを踏まえて自ら考察) ➤ 生成AIの使用に関する指針を見直し